



仕事のやりがい、「人の役に立つこと」が上位、
一方で、フリーターの場合には「やりがいを感じきれない」ケースが目立つ

ハタラクティブ、「若者しごと白書」第5弾を公開



レバレッジズ株式会社が運営するフリーター・既卒・第二新卒向け就職支援サービス ハタラクティブ(<https://hataractive.jp/>)は、2019年から毎年実施している「若者しごと白書」の第5弾として、全国の18歳～29歳の正社員・フリーター※の男女2,000人を対象に「正社員とフリーターのキャリア」に関する調査を実施し、「若者しごと白書 2023」を作成いたしました。

本リリースでは、正社員とフリーターの働き方に対する価値観や就職・転職方法について比較したものを、一部を抜粋しております。

※1.アルバイト・パートタイマーで生計を立てている、もしくはアルバイト・パートタイムで働く意志のある無職の人をフリーターと定義する

白書全文はこちらより、ダウンロードが可能です。

調査トピックス(本調査より一部抜粋)

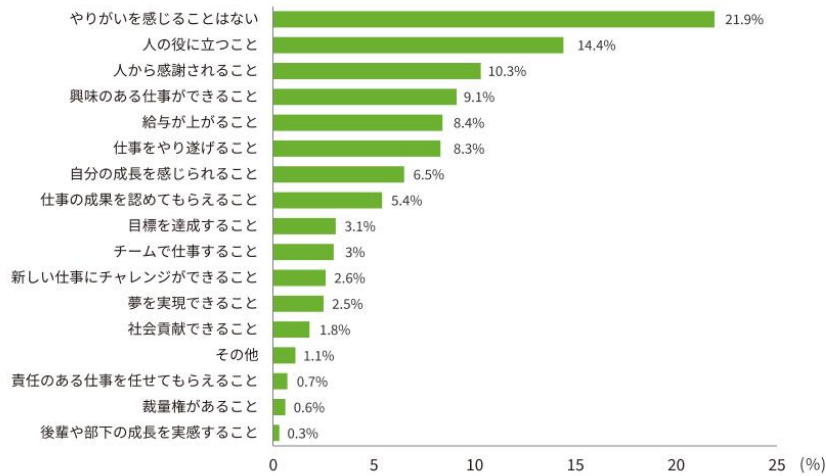
1. 仕事のやりがい、「人の役に立つこと」の回答が上位に挙がる一方で、フリーターの場合には「やりがいを感じきれない」ケースが目立つ
2. 就職活動・転職活動を始めたきっかけ、正社員・フリーターともに約半数が「金銭面の不満や不安」
3. 就職・転職時の「転職エージェント」活用割合、正社員は約2割に対しフリーターは1割未満

1.仕事のやりがい、「人の役に立つこと」の回答が上位に挙がる一方で、フリーターの場合には「やりがいを感じきれない」ケースが目立つ

仕事のやりがいは、正社員・フリーターともに「人の役に立つこと」が上位に挙げられました。正社員は「給与が上がること(14.4%)」の回答が2番目に多い結果となり、一方で、フリーターとして勤務している人は仕事に対し、2割が「やりがいを感じない」と回答しました。

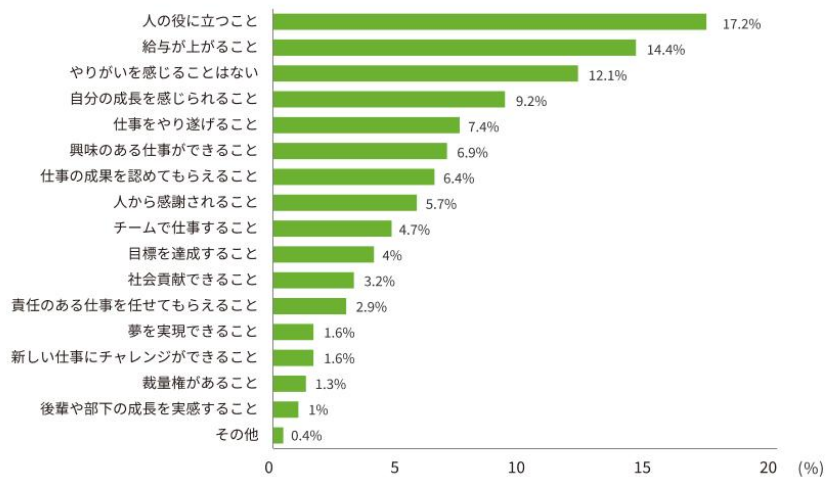
仕事のやりがい

仕事のやりがい【フリーター】



※回答者数：1,000人

仕事のやりがい【正社員】



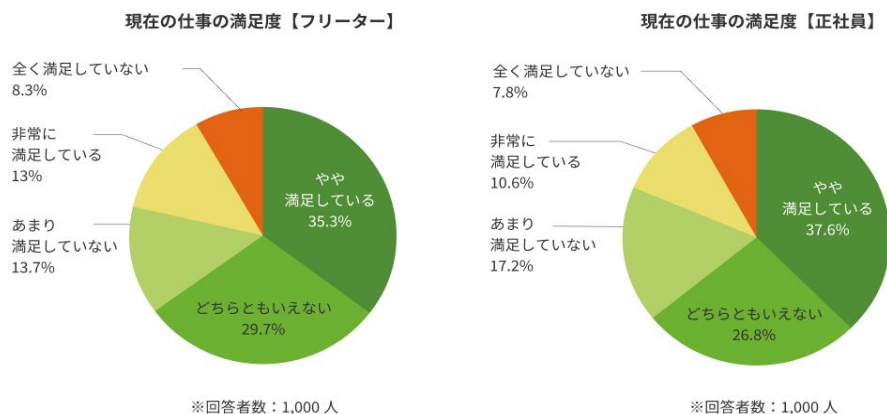
※回答者数：1,000人



一方で、現在の仕事の満足度について、正社員もフリーターも「やや満足している」がもっとも多い回答となり、差は見られませんでした。

満足している理由について、正社員は「仕事の面白さ(29.9%)」が最も多い回答だったのに対し、フリーターは「人間関係のよさ(36.9%)」が第1位となりました。フリーターとして勤務をしている人は、仕事を通して感じられるやりがいや仕事内容よりも、働きやすい環境があることが働くモチベーションになっていることが考えられます。

現在の仕事の満足度



ハマラクテブ
PRODUCED BY Leverages

仕事に満足している理由

仕事に満足している理由【フリーター】	仕事に満足している理由【正社員】
1位 人間関係のよさ (36.9%)	1位 仕事の面白さ (29.9%)
2位 仕事の面白さ (15.1%)	2位 人間関係のよさ (18.9%)
3位 働き方の自由度 (13.5%)	3位 休日休暇日数 (13.3%)
4位 勤務時間 (10.1%)	4位 給与 (7.5%)
5位 休日休暇日数 (6.4%)	5位 成長できる環境 (6.8%)

※回答者数：483人 ※5位まで抜粋

ハマラクテブ
PRODUCED BY Leverages

2.就職活動・転職活動を始めたきっかけ、正社員・フリーターともに約半数が「金銭面の不安や不満」

就職活動や転職活動を始めたきっかけについて、正社員は「給与の低さ(40.2%)」がもっとも多く、フリーターは「金銭面的な不自由、不安(55.2%)」が1位となり、どちらも、金銭面での不満や不安が約半数を占めました。

フリーターの「就職活動を始めたきっかけ」で2番目に多かった回答は「正社員は雇用が安定している(28.5%)」となりました。フリーターとして勤務を続けていく中で、社会的信用が低いことや

周囲からの評価に対する不安が、就職活動を始めるきっかけになっていることが考えられます。

就職活動・転職活動を始めたきっかけ

就職活動・転職活動を始めたきっかけ【フリーター】

- 1位
金銭的な不自由、不安 (55.2%)
- 2位
正社員のほうが雇用が安定しているから (28.5%)
- 3位
やりがいのある仕事をしたいため (23.6%)
- 4位
自分の興味・関心の変化 (23.1%)
- 5位
もともと就職意向があり、
一時的に就職していなかっただけ (14.3%)

※回答者数：631人 ※3つまで回答 ※5位まで抜粋

就職活動・転職活動を始めたきっかけ【正社員】

- 1位
給与が低い (40.2%)
- 2位
やりがい・達成感がない (24.5%)
- 3位
人間関係が悪い (16.5%)
- 4位
その他 (15.2%)
- 5位
企業や業界の将来性が不安 (13.5%)

※回答者数：631人 ※3つまで回答 ※5位まで抜粋



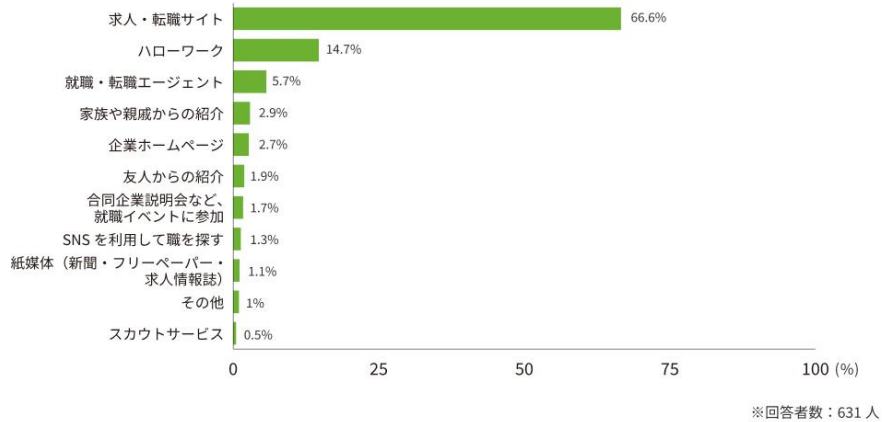
3.就職・転職時の「エージェント」活用割合、正社員は約2割に対しフリーターは1割未満

就職活動・転職活動における企業探し的手段・利用サービスについては、フリーター・正社員同様に「求人・転職サイト」が最多となりました。正社員は「就職・転職エージェント(19.8%)」が2番目にあげられていますが、フリーターは「ハローワーク(14.7%)」となり、「就職・転職エージェント(5.7%)」は1割にも満たない結果となりました。

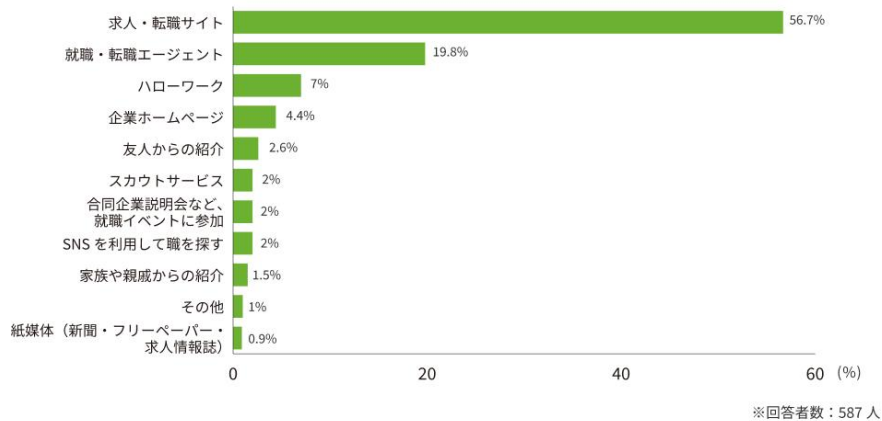
20代フリーターを対象とする人材紹介サービスは、一般の転職エージェントと比較すると多くはなく、手段として想起されにくいことが考えられます。

企業探し的手段・利用サービス

企業探し的手段・利用サービス【フリーター】



企業探し的手段・利用サービス【正社員】



<まとめ>

今回の調査結果から、正社員として勤務している人は「仕事内容」や「やりがい」、フリーターとして勤務している人は「就労環境」や「就労方法」が働くモチベーションになっていることがわかりました。

就職活動・転職活動における企業探し的手段・利用サービスについて、転職・正社員は「就職・転職エージェント」が2番目にあげられ、約2割の人が利用しています。正社員として勤務をしている人は仕事内容ややりがいを重視する傾向に強い結果から、転職エージェントとの面談の中で、条件面だけでなく、仕事内容や仕事を通して得られるやりがいについても相談し、求人を選定している人も多いのではないのでしょうか。

人手不足に悩んでいる企業は、求職者に対していかに面接の中で企業の魅力付けができるかが、課題を解決するための重要なポイントだと考えられます。

面接時に企業への意向が上がるポイントに個人差はありますが、求職者の現在の雇用形態によって、訴求するポイントを変更することが、内定承諾率の向上や入社後の定着率アップに繋がるかもしれません。

<引用・転載時のクレジット表記のお願い>

本リリースの引用・転載時には、必ず「ハタラクティブ 若者しごと白書2023」を明記ください。

<調査概要>若者しごと白書2023

調査目的: 18歳～29歳のフリーター・正社員の働き方・キャリア観の把握

調査期間: 2022/12/06～2022/12/09

調査方法: インターネット調査

調査対象: 18歳～29歳 男女

2022年11月時点で満18歳～29歳のフリーター、正社員男女

集計対象: 2,000人

発行年: 2023年3月

<集計対象(2,000ss)内訳>

中卒フリーター: 57人 高卒フリーター: 372人 専門卒フリーター: 164人 高専・短大卒フリーター: 73人

大卒フリーター: 297人 その他・フリーター: 37人

中卒正社員: 4人 高卒正社員: 271人 専門卒正社員: 110人 高専・短大卒正社員: 42人

大卒正社員: 558人 その他・正社員: 15人

<集計対象男女内訳>

男性 18～20歳 55ss 男性 21～23歳 205ss 男性 24～26歳 234ss 男性 27～29歳 258ss

女性 18～20歳 136ss 女性 21～23歳 299ss 女性 24～26歳 407ss 女性 27～29歳 406ss

ハタラクティブ (<https://hataractive.jp/>)

ハタラクティブは、フリーターや既卒など正社員未経験の方や経験の浅い第二新卒向けの就職・転職支援サービスです。サービス登録者数は40万人※を超え、「仕事探しに“あなた”の正解を」というスローガンのもと、採用基準にマッチした求人を紹介するだけでなく、個々人にとって最適な支援を提供することに重点を置き、サービスを展開しております。※2022年5月時点

Leverages Group (<https://leverages.jp/>)

本社所在地: 東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア24階 25階

代表取締役: 岩槻 知秀

資本金: 5,000万円

設立: 2005年4月

事業内容: 自社メディア事業、人材関連事業、システムエンジニアリング事業、M&Aコンサルティング事業、ASP、SaaS、クラウド関連事業

社会の課題を解決し関係者全員の幸福を追求し続けることをミッションに、インターネットメディア・人材・システムエンジニアリング・M&A・不動産の領域で国や業界をまたいだ問題解決を行なっています。2005年に創業以来、黒字経営を継続し2021年度は年商649億を突破しました。各分野のスペシャリストが集うオールインハウスの組織構成と、業界を絞らないポートフォリオ経営で、時代を代表するグローバル企業を目指します。

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレッジズ株式会社 広報部
TEL: 03-5774-2900 MAIL: pr@leverages.jp